

花沢アイクリニック通信

第154号

R5年 10

オペラ鑑賞で芸術の秋



こんにちは。院長の梅津由子です。

厳しい残暑の9月も終わり、秋の味覚が気になる今日この頃です。夏バテで体調が今一つの方もおいしいフルーツや炊き立ての新米を食べて、エネルギーを補給しましょう。



さて、私かというと、9月の連休に数年ぶりにオペラを鑑賞し、一足早く芸術の秋を堪能してきました。ローマ歌劇場の引っ越し公演、演目はプッチーニの「トスカ」とヴェルディの「椿姫」を2日間にわたり鑑賞しました。

オペラというとちょっと敷居が高く感じられますが、ストーリーは案外単純で、結構ドロドロした男女関係のお話が多く、ちなみに「トスカ」のあらすじはといいますと、舞台は、ナポレオン軍がヨーロッパを席卷中の1800年6月。警視総監スカルピアが恐怖政治を敷くローマ。主役は一途な愛ゆえに嫉妬深い歌姫のトスカとその恋人、騎士で画家のカヴァラドッシ。彼は脱獄した政治犯の友人をかくまいますが、脱獄に気付いたスカルピアは、トスカを

利用し居場所をつきとめ、まずは、カヴァラドッシを拘束、脱獄犯の居場所を吐かせるために彼を拷問にかけ、銃殺刑を命じます。トスカが恋人の救命を懇願すると、スカルピアは代わりにトスカの肉体を要求。彼女は恋人と二人での国外逃亡を条件に要求に応じるが、その前にスカルピアを刺し殺してしまいます。スカルピアとの約束では、カヴァラドッシの銃刑は見せかけのようですが、刑を見守ったトスカが近寄ると、彼は本当に銃殺されていた！そこにスカルピア殺害に気づいた追手が迫り、彼女は牢獄であるサンタンジェロ城の屋上から身を投げる…。たった2日間の物語ですが、主要な登場人物3人とも亡くなって終わるといふ何とも救いようのないお話です。

引っ越し公演だけあって超豪華な舞台装置の上で繰り広げられる迫力ある歌の数々。甘美な愛の歌から、鬼気迫るやり取りの二重唱など、喜怒哀楽の表現が音楽にのせて語られ、より一層心に迫ってきます。トスカの「歌に生き、愛に生き」やカヴァラドッシの「星は光りぬ」など有名なアリアはアンコールしたいくらいでしたが、オペラはアンコールがなく、カーテンコールだけです。鳴りやまない拍手（15分位拍手しっぱなし）、ブラボーの嵐に何度もカーテンコールが行われ、血のりのついたままのカヴァラドッシが元気に手を振ったりして一気に現実に引き戻されました。上演はイタリア語ですが、舞台サイドの電光掲示板に日本語訳が出ます。所要時間は3時間程度ですが、幕間に25分の休憩が3回あり、ロビーでシャンパンをいただいたり、サンドイッチをつまんだりできます。どうです？オペラ観に行きたくなりませんか？（椿姫も最高でした！）



目玉いきいきライフ

目玉いきいきライフのコーナーでは、目の健康に関する情報や、耳より情報（眼科だけどっ）をお届けします。



★医療事務員さんが仲間入りしました★

今回は、新しく仲間になった医療事務のマロンさんにインタビューしました！

★医療事務になろうと思ったきっかけは何ですか？

色々な資格にチャレンジしてみたいと思い、その中から選んだのが医療事務でした。資格取得後は、調剤薬局や内科で事務の仕事をしてきました。



子どもが学校検診で視力の指摘を受けて受診したり、私自身がコンタクトレンズを使っているので眼科にはなじみがあり、眼科で医療事務としての経験を積みたと思います。

医療事務のマロンです
よろしくお願いします



★マロンさんの好きなことを教えてください！



以前は一人で海外に行ったりするほどの旅行好きで、今は家族で国内旅行することが楽しいです。子どもがスキューバダイビングが好きなので、今度は沖縄などの島に行って、きれいな海を楽しみたいと思っています。食べることも好きなのですが、とくにラーメンが好きで毎週のように食べています。子どもと一緒に喜多方まで朝ラーを食べに行くこともあります。私は辛みそが好みなので、おすすめのお店があれば教えてください。



★マロンさんの意気込みを一言お願いします！

新しい職場で、期待と不安が入り交じったドキドキな日々を過ごしています。1日も早く仕事を覚え、患者様の健康のために、あたたかい声かけやスムーズな対応ができるよう頑張っていきたいと思います。

ハッピー・ハロウィン★
目玉いきいきライフ！

